

【別表 1】植物関係のコレクションの現状評価

|    | 項目             | コケ    | シダ                     | 種子                      | 大型藻      | 微細藻(珪藻)                       | 菌類                             | 地衣類                              | 変形菌         |
|----|----------------|-------|------------------------|-------------------------|----------|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-------------|
| 1  | 日本産リストの存在      | あり    | あり                     | あり                      | －(していない) | なし                            | あり                             | あり                               | なし          |
| 2  | 日本産リストの電子化     | あり    | あり                     | あり                      | ○(環境省)   |                               | 進行中                            | あり(但し、データベースとして整形されていない。内容の改訂必要) | なし          |
| 3  | 日本産種の科博標本のカバー率 | 84%   | 80%                    |                         | 56%      | ○(環境省)                        | 44%(推定)                        | 50%                              | 90%(推定)     |
| 4  | 近隣諸国での標本確保     | △     | △1点もない種がまだ多数           | △1点もない種がまだ多数            | ○(56%)   | △                             | △(一部の分類群に限る)                   | ○                                | △           |
| 5  | 世界スケールでの標本確保   | △     | △南米・アフリカ産少ない           | △外国産が絶対的に少ない            | －(していない) | △                             | △(エキシカータ)                      | ○                                | △           |
| 6  | 日本産固有種リストの存在   | あり    | あり                     | あり                      | －        | なし                            | なし                             | なし                               | なし          |
| 7  | 日本産固有種リストの電子化  | あり    | あり                     | あり                      | －        | なし                            | なし                             | なし                               | なし          |
| 8  | 日本産固有種の推定      | すでに終了 | すでに終了                  | すでに終了                   | －        | 固有と推定されるものについて大陸側の情報がなく確定できない | 日本産リストと維管束のリストに基づき推定を試みることができる | まだ行っていない                         | 困難          |
| 9  | 日本産固有種標本の確保    | 努めている | ◎「日本のシダ植物図鑑」の証拠標本でほぼ網羅 | ○データベース化がほぼ完了し、現状把握できた。 | －        | △                             | 現時点では対象種が不明                    | ジェネラルコレクションとして収集してきている           | 現時点では対象種が不明 |
| 10 | 日本産固有種の系統維持    | していない | △植物園の栽培環境・栽培技術的に限界あり   | △植物園の栽培環境・栽培技術的に限界あり    | －(していない) | 一部について株を確立。環境研に寄託             | していない                          | していない                            | していない       |
| 11 | 絶滅危惧種リストの存在    | あり    | あり                     | あり                      | ○(環境省)   | なし                            | あり                             | あり                               | なし          |
| 12 | 絶滅危惧種リスト       | あり    | あり                     | あり                      | ○(環境省)   | なし                            | あり                             | あり                               | なし          |

|    | 項目               | コケ              | シダ                                                         | 種子                    | 大型藻      | 微細藻(珪藻)        | 菌類                  | 地衣類     | 変形菌       |
|----|------------------|-----------------|------------------------------------------------------------|-----------------------|----------|----------------|---------------------|---------|-----------|
|    | の電子化             |                 |                                                            |                       |          |                |                     |         |           |
| 13 | 絶滅危惧種リストの標本保有    | 約 60%           | ◎「日本のシダ植物図鑑」の証拠標本でほぼ網羅                                     | ○絶滅危惧種調査の観察データに比べると不足 | ○(56%)   | －              | あり（ 50 % 程度）        | あり(99%) | －         |
| 14 | 絶滅危惧種の系統維持       | していない           | 狭義絶滅危惧植物 356/1690 種類 (26.6%)を系統維持(自生地情報あり)植物園の栽培環境・技術に限界あり |                       | －(していない) | －(していない)       | －(可能なものは菌株保存機関に寄託)  | なし      | －         |
| 15 | 科博内での分子系統学的アプローチ | 特定の分類群を対象に行っている | ◎ 95%の種について系統解析が完了                                         | △取り組みの幅がある            | －        | あり             | あり                  | あり      | －         |
| 16 | DNAサンプルの収集(研究成果) | 特定の分類群を対象に行っている | ◎ 95%の種について DNA バーコーディング完了                                 | ○(特定分類群)              | －        | ◎(珪藻・シアノバクテリア) | ◎(特定分類群)            | ○       | －         |
| 17 | DNAサンプルの収集(一般標本) | 行っていない          | ◎DNA 抽出用組織サンプルを伴った標本が多い                                    | △部分的                  | －        | ○              | ○                   | ○       | －         |
| 18 | 系統学的データの収集       | 特定の分類群を対象       | ◎                                                          | △網羅的ではない              | －        | ○              | ○(特定分類群)            | ○       | －         |
| 19 | バーコーディング         | 行っていない          | ◎ほぼ完了                                                      | △(森林総研と協同で日本産樹木を対象)   | －        | ○              | △タイプ標本の一部・培養株について実施 | ○       | －         |
| 20 | 国内未調査地域の割り出し     | 不十分             | ◎国内はほぼまんべんなく調査済み                                           | 把握している                | □(計画中)   | ○主要湖沼について      | 関西以西が探索不足           | ○       | データ整形後に可能 |

◎:大変充実している。○:充実している。△:あまり多くないが、ある。□:ほとんどない。—:ない。あるいは対象外。?:不明